【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【公開番号】特開2002-263479(P2002-263479A)
【公開日】平成14年9月17日(2002.9.17)
【出願番号】特願2001-64995(P2001-64995)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｊ　20/02　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　 9/01　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　 9/16　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　39/14　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　53/02　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　53/04　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　20/08　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　20/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｊ　20/02　Ｂ
Ａ６１Ｌ　 9/01　Ｅ
Ａ６１Ｌ　 9/01　Ｂ
Ａ６１Ｌ　 9/16　Ｄ
Ｂ０１Ｄ　39/14　Ｋ
Ｂ０１Ｄ　53/02　Ｚ
Ｂ０１Ｄ　53/04　Ａ
Ｂ０１Ｊ　20/08　Ｃ
Ｂ０１Ｊ　20/20　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成20年2月15日(2008.2.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　アンモニアを固定化するアンモニア固定化剤と、アンモニア固定化剤を担持する担体とを有する吸着剤において、銀イオンを含む水系媒体中でアンモニア固定化剤を担体に担持させたことを特徴とする吸着剤。
【請求項２】　前記水系媒体には硫酸銀及び硝酸銀の少なくともいずれかを含むことを特徴とする請求項１記載の吸着剤。
【請求項３】　前記アンモニア固定化剤は無機酸塩であることを特徴とする請求項１記載の吸着剤。
【請求項４】　前記無機酸塩は硫酸アルミニウム及び硝酸アルミニウムの少なくともいずれかを含むことを特徴とする請求項３記載の吸着剤。
【請求項５】　前記担体はけいそう土、シリカ、アルミナ、シリカとアルミナの混合物、ケイ酸アルミニウム、活性アルミナ、多孔質ガラス、活性白土、活性ベントナイト、合成ゼオライト、及び活性炭の中から選ばれる少なくとも一種を含む粉末であることを特徴とする請求項１記載の吸着剤。
【請求項６】　けいそう土、シリカ、アルミナ、シリカとアルミナの混合物、ケイ酸アルミニウム、活性アルミナ、多孔質ガラス、活性白土、活性ベントナイト、合成ゼオラ

イト、及び活性炭の中から選ばれる少なくとも一種からなる担体に、硫酸アルミニウム及び硝酸アルミニウムの少なくともいずれか一方又は両方と、硫酸銀及び硝酸銀の少なくともいずれか一方又は両方とを添着させた吸着剤。

【請求項７】　通気路内に吸着剤を支持するための支持体の表面に請求項１～６のいずれか一項に記載の吸着剤を有する空気浄化フィルタ。

【請求項８】　前記支持体はハニカム構造体であることを特徴とする請求項７記載の空気浄化フィルタ。

【請求項９】　アンモニアを固定化するアンモニア固定化剤と、このアンモニア固定化剤を担持する担体と、この担体を表面に有する支持体とから構成される空気浄化フィルタを製造する方法において、

銀イオンを含む水系媒体中で前記アンモニア固定化剤と前記担体と前記支持体の材料とを混合し、この混合物を所定の形状に成形することを特徴とする空気浄化フィルタの製造方法。

【請求項１０】　アンモニアを固定化するアンモニア固定化剤と、このアンモニア固定化剤を担持する担体と、この担体を表面に有する支持体とから構成される空気浄化フィルタを製造する方法において、

銀イオンを含む水系媒体中で前記アンモニア固定化剤と前記担体とを混合し、この水系媒体中に前記支持体を浸漬し、水系媒体から支持体を取り出して乾燥させることを特徴とする空気浄化フィルタの製造方法。

【請求項１１】　アンモニアを固定化するアンモニア固定化剤と、このアンモニア固定化剤を担持する担体と、この担体を表面に有する支持体とから構成される空気浄化フィルタを製造する方法において、

前記アンモニア固定化剤と銀イオンとを含む水系媒体に前記担体を表面に固着させた支持体を浸漬し、水系媒体から支持体を取り出して乾燥させることを特徴とする空気浄化フィルタの製造方法。

【請求項１２】　前記水系媒体には硫酸銀及び硝酸銀の少なくともいずれかを含むことを特徴とする請求項９～１１のいずれか一項に記載の空気浄化フィルタの製造方法。

【請求項１３】　前記アンモニア固定化剤は無機酸塩であることを特徴とする請求項９～１１のいずれか一項に記載の空気浄化フィルタの製造方法。

【請求項１４】　前記無機酸塩は硫酸アルミニウム及び硝酸アルミニウムの少なくともいずれかを含むことを特徴とする請求項１３記載の空気浄化フィルタの製造方法。

【請求項１５】　前記担体はけいそう土、シリカ、アルミナ、シリカとアルミナの混合物、ケイ酸アルミニウム、活性アルミナ、多孔質ガラス、活性白土、活性ベントナイト、合成ゼオライト、及び活性炭の中から選ばれる少なくとも一種を含む粉末であることを特徴とする請求項９～１１のいずれか一項に記載の空気浄化フィルタの製造方法。

【請求項１６】　前記支持体はハニカム構造体であることを特徴とする請求項９～１１のいずれか一項に記載の空気浄化フィルタの製造方法。